



社会福祉法人 恩賜財団 済生会 松山老人保健施設にぎたつ苑



# にぎたつの

2021

# 春

第41号



社会福祉法人  
**恩賜 済生会** とは  
 おんしざいだん さいせいかい



## 済生会とは

総裁：秋篠宮皇嗣殿下

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44(1911)年に設立しました。100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の三つの目標を掲げ、日本最大の社会福祉法人として全職員約62,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

- 生活困窮者を 済(すく)う
- 医療で地域の 生(いのち)を守る
- 医療と福祉 会を挙げて切れ目のないサービスを提供

病、老い、障害、境遇……悩むすべてのいのちの虹になりたい。

済生会はそう願って、いのちに寄り添い続けます。

三つの目標

活動の方針

事業の内容

組織概要

歴史

なでしこ紋章の由来

なでしこプラン

情報公開

## INDEX



第41号



表紙「春のこんぴらさん」(写真：蔭原)

「済生会」とは . . . . . P1P2

苑長・事務長よりご挨拶 . . . . . P3

がんばろう！済生会 . . . . . P4

在宅支援の取り組み . . . . . P5

入所・短期入所療養介護 . . . . . P6

通所リハビリテーション . . . . . P7

デイサービスセンターごごしま . . . . . P8

訪問介護事業所・居宅介護支援事業所 . P9

在宅復帰支援センターハートフル . . . . . P10

介護のいろは . . . . . P11

ワンポイントリハビリ . . . . . P12

井戸端看護 . . . . . P13

無料低額診療のご案内 . . . . . P14

歴史——なりたちから今へ

天皇陛下のおことば

濟生勅語

恩賜(おんし)財団の表記

なでしこ紋章の由来

年表

## 《なでしこ紋章の由来》

初代総裁・伏見宮貞愛(ふしみのみやさだなる)親王殿下は、明治45年、濟生会の事業の精神を、野に咲く撫子(なでしこ)に託して次のように歌にお詠みになりました。

露にふす 末野の小草 いかにごと  
あさ夕かかる わがころかな

—野の果てで、露に打たれてしおれるナデシコのように、生活に困窮し、社会の片隅で病んで伏している人はいないだろうか、いつも気にかかってしかたがない—

この歌にちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花葉に露をあしらったものを、大正1年以来、濟生会の紋章としています。

明治天皇は、「濟生勅語」で救済する対象者を「無告の窮民」と例示しています。無告の窮民とは、極貧にあえいでいることを自分の代わりに誰かに訴えてくれる身寄りがない人、つまり訴えるすべすら持たない困窮者と言う意味です。その人たちに目を向けよう、「濟生」しようというのが勅語の主旨です。

当時はそのような極貧の人たちがたくさんいました。しかし、新憲法下、経済の発展に加えて社会保障制度が充実し、確かに一時、生活困窮者は減りました。そのため、「施薬救療」の精神を現代に生かしている無料低額診療制度はその重要性を失い、無料低額診療事業を存立の根幹としている濟生会は危機を迎えました。しかし、さらに時代は進んで現在に至り、社会の困窮はその様相を変えながら、むしろ広がっています。

濟生会は新しい貧困のかたちに対応した生活困窮者支援事業を「なでしこプラン」と名付け、平成22年度から実施しています。生活保護受給者にとどまらず、ホームレス、刑務所出所者、DV被害者、外国人、独り暮らしのお年寄り等、対象をすべての「末野の小草」(撫子)に広げて支援を続けています。

## 介護人材が不足する中で これからの老健が目指す姿

令和3年度を迎えるに当たり、一言ご挨拶致します。当にぎたつ苑は令和4年5月に30周年を迎えます。これまでのご利用者、そのご家族の方々、職員の皆様、地域住民の皆様、並びに関係事業所の皆様方のご理解、ご協力、ご助力に対し、改めて深く感謝申し上げます。昨今のコロナ禍のせいで、多くの方々が非常にご苦労されていると思われませんが、尚一層、感染予防等にご協力戴きますようお願い致します。

さて、表題にも挙げましたが、今後の介護人材の不足が以前より声高に言われております。それにどう対処していくかが、これからの介護施設にとって重要となります。当苑では労働生産性の向上を目指し、IT機器の新規導入や、職員の身体的負担の軽減を目的としたノーリフティングの導入を進めています。このことで、例え一時的に人材不足になっても、それを補える施設へと転換を目指しております。また、関係事業所の方々との連携を更に深めることで、より人材の確保をスムーズに進めたいと思っております。これからもご利用者、ご家族、地域の住民の皆様方のニーズに寄り添いながら、より良い施設を目指し、努力し続けたいと存じます。



施設長 山本昌也

## にぎたつ苑 苑長・事務長から新年度のご挨拶

~Leader's objective~



事務長 後藤道洋

### 介護報酬の改定と今後の展望

昨年度より併設病院から異動になりました。これまで培ってきた医療・保健・福祉への「想い」を引き継ぎ、済生会一丸となって地域の皆様に還元できればと考えています。

さて、少子高齢化対策として「社会全体で支える」介護保険制度も2025年に向けて着実に進んでおります。今年度は、3年に一度の介護報酬の改定年となります。いわゆる利用者負担に影響する改定です。国は、各施設の財政状況を鑑み、若干のプラス改定としました。

そのためサービス料金の変更もあり困惑している人もいます。増え続ける社会保障費の中、「地域共生社会実現」に向けての財源中立、在宅復帰への国の方向性は、介護保険の趣旨からもご理解いただけると幸いです。

今回の改定では、地域参加型の感染や災害対策の取り組みも明記されました。これまで以上に、非常時における地域の関わりが求められています。また、サービス料金が高くなる要因の一つとして、請求項目に新たに追加されるものがあります。これらは、全国で成果がでた先駆の取り組みを設定する場合があります。つまり、利用者様においても、より根拠に基づいた最先端なサービスに参加していると思ってもらえればいいかと思えます。

にぎたつ苑もビジョンである「未来 SOZO 空間(想像と創造)」の4年目を迎え、新たに訪問看護、障がい者就労支援など9サービスの提供が可能となりました。また、デイの自立サポートできる生活機能訓練ゾーン新設や有料老人ホーム(ハートフル)への訪問介護移転など、よりニーズにあった空間の提供も開始しております。興味をもたれた方は、職員手作りのパンフレットもありますので、お気軽にお声をかけてください。



# がんばろう！ 済生会



どこにいても心はひとつ。  
わたしたちは頑張る仲間を  
応援します！



「新型コロナウイルス感染症に立ち向かう、全国の済生会職員を応援したい！」という思いが発端となって、いま済生会の内部では、お互いにエールを送り合うキャンペーン『がんばろう！ 済生会』が展開されています(その様子は、済生会広報誌「済生」誌上に掲載されています)。

にぎたつ苑職員も、激励の気持ちをたくさんの写真に込めて、日本各地で頑張る仲間たちに向けて送りました！



# 元気になっておうちへ帰ろう

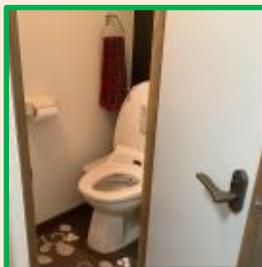
～在宅支援の取り組み～

part.15

当施設では、入所前後に自宅を訪問して、環境確認を行っています。一人一人の自宅の環境を把握したうえで、段差や移動方法を指導し、在宅復帰に向けたリハビリに取り組んでいます。

また、利用者様、ご家族様の意向に沿って、必要な住宅改修や福祉用具の準備を行い、自宅で安全に生活が送れるように支援しています。今回は入所後に自宅の環境を確認し、退所後の生活に向けてリハビリに取り組んだ事例をご紹介します。

## <入所後の自宅訪問>



トイレ・廊下に手すりなし。移動や排泄動作に介助必要。

自宅内で伝い歩きができ  
一人でトイレへ行けること  
を目標にしましょう！



## <入所中のリハビリ>

黄ベルトをスポンに見立て  
上げ下げの練習



段差昇降の練習



独歩での歩行練習

3  
カ  
月  
後

## <退所前の自宅訪問>



トイレにレンタルの手すりを設置。立ち上がりもスムーズにできるようになりました。

廊下にも手すりを取り付け  
伝い歩きができています。



手すりを持たば、歩いて  
トイレまで行けるよ





# 入所・短期入所療養介護

入所・短期入所療養介護は、症状が安定し、リハビリに重点をおいたケアが必要な高齢者が入所するサービスです。私たちは健康管理のもとで日常生活の介護やリハビリ、在宅生活への復帰を目指した各種サービスを提供します。

## 入所

生活上の介護を必要とする方や病院での入院治療又は通院治療を必要としないが、看護・介護・リハビリテーションを中心とした援助・健康管理が必要とされる方を対象としています。入所後3ヶ月ごとに自立できたかどうかを検討しながら在宅生活への復帰に向けてお手伝いします。

## 短期入所療養介護

家庭で高齢者を介護されている家族の方が、何らかの事情で一時的に介護できない場合に一定期間、家族に代わってお世話いたします。



### ＜主なサービス内容＞

- ・ 日常生活の介護(食事、入浴、整容、更衣、排泄)
- ・ リハビリ(短期集中リハビリ、認知症短期集中リハビリ、個別リハビリ、集団リハビリ)
- ・ 看護(健康状態の把握、口腔ケア、医療的処置など)
- ・ レクリエーション(集団レク、集団体操、教養娯楽活動など)
- ・ その他(入所や退所の相談、ケアプランの作成、家族の相談、退所指導、居宅との連携など)

## 毎月第3金曜日は「パンの日」

にきたつ苑では、済生会松山病院南側で就労支援事業の一環として営業しております『パンとカフェなでしこ』に、手作りパンを注文して、ご利用者様のおやつに提供しております。



パンと一緒に好きな飲み物(コーヒー・甘酒が人気です)を提供させて頂いています。

### パンの種類

- ・ あんぱん
- ・ クリームパン
- ・ 季節のパン



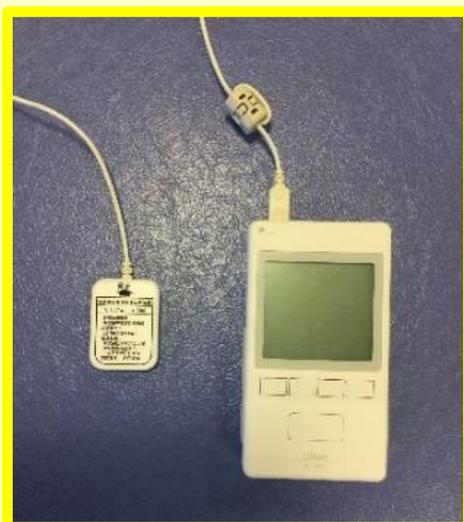
※パンが食べられない方には、ムースやプリンを提供させて頂いています。

# 通所リハビリテーション

通所リハビリに導入している

## 膀胱用超音波画像診断装置

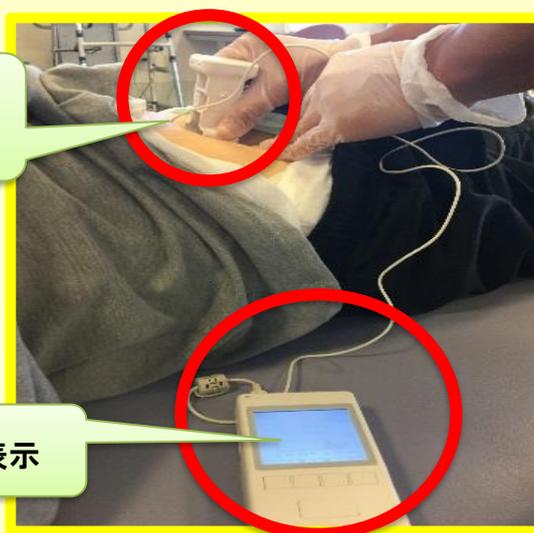
「膀胱用超音波画像診断装置」とは、超音波により膀胱内尿量を可視化する医療機器です。膀胱内尿量モニター（残尿測定または24時間定時測定）による包括的な膀胱機能評価が行え、尿道留置カテーテル抜去後や、おむつ外しのための排尿ケアに有用です。臥位での測定を推奨しています。



膀胱の辺りに  
機器を当てる



残尿(蓄尿)量を表示



【バルーンを外したが、尿意が不確かで、毎回オムツ交換をしていた方への活用例】

### 【導入方法】

職員が、対象者様の膀胱内に尿が溜まっているかどうかを機械で測り、トイレへ行くのに良いタイミングだと判断した時点で、トイレへ誘導するようにしました。

(※)同時に、トイレで排泄する為の座位・移乗動作のリハビリも実施。

### 【導入してみた効果】

トイレ誘導すべきタイミングが客観的に分かることで、トイレで排尿ができるようになり、オムツの使用頻度が減少しました。また、ご本人様からトイレ希望の訴え(尿意の回復)も現れ、「トイレで排泄する」ことが増えました。

(※)尿意が分からなくなる要因は、ご病気でバルーンを留置しなくてはならない、導尿が必要、認知面の低下など様々な原因があります。

**体験利用あり！**

お問い合わせ先 TEL 089-951-6600

# デイサービスセンター ごごしま



デイサービスでは、ご利用者様の体力作りと生活能力向上を目的として、グループに分かれて行う機能訓練と、全員で行う体操の時間を設けて、ほぼ毎日実施しています。

ご利用者様の中には、それ以外の時間を使って、自主的に運動をされる方もおられます。フロアに置いてあるエアロバイクや平行棒、ハンドグリップなどの器具を活用したり、「廊下を5回往復する」と決めて歩かれたり、方法は人それぞれですが、日々熱心に取り組んでおられます。

ご利用者様の望む結果が得られるように、職員は体の動かし方などに関して、適宜にアドバイスを行っています。また、デイで実施した体操のうち、自分で簡単にできそうなものをいくつか覚えて、是非自宅でもやってみてくださいと、お声かけしています。

女性に人気です！



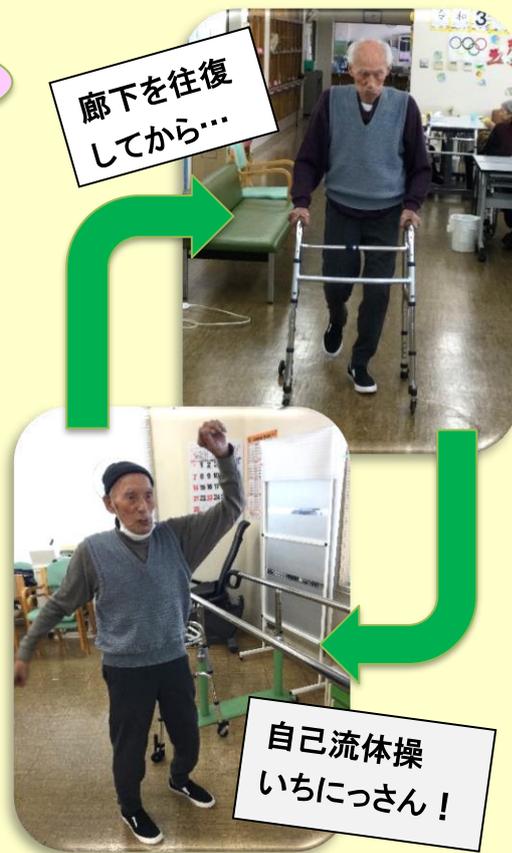
うふふふ…

GOGO!



←エアロバイクの操作画面。運動時間、走行距離、消費カロリー、動かしている筋肉などのデータを表示することができます。脚にかける負荷の調節も、ボタン一つで自由自在！

廊下を往復してから…



自己流体操  
いちにつきさん！

坂道で手すりにしっかりつかまれるよう、これで握力を鍛えております



↑ご自分の握力に合う物を選んでもらえます

8

平行棒でスクワット！  
目標20回じゃ～



FIGHT!

体験利用あり

お問い合わせ先 TEL 089-961-5800

# 訪問介護事業所

## 訪問介護サービスは

安心して在宅生活が継続できるよう支援いたします

お悩みやご要望は  
ございませんか？  
そんな時は・・・



### 生活援助

掃除、調理、洗濯(洗濯物干し、取り入れ)、  
シーツ交換、買い物代行、衣類の整理など

### 身体介護

入浴介助、清拭、買い物同行、通院同行、  
食事介助、口腔ケア、排泄介助、更衣介助、  
移動や移乗介助、自立支援の見守りなど

- ・営業日(相談受付日)  
月～金(12/30～1/3を除く)
- ・営業時間(相談受付時間)  
8:30～17:00
- ・サービス提供時間  
ご利用者の希望するサービスに対応
- ・ご利用範囲  
松山市(旧北条市、中島町を除く)  
\*興居島地区にもサテライトがあり対応しています。

お問い合わせ先 TEL 089-951-1106

# 居宅介護支援事業所

## ケアマネジャーはお決まりですか？

私たちケアマネジャーは介護保険制度において、要支援、要介護と  
認定された人が、住み慣れた我が家でその人らしい生活ができるよう  
に、適切なサービスの提供をご支援いたします。

# 介護の事お気軽にご相談ください

# 在宅生活復帰支援センターハートフル済生会

## 松山在宅生活復帰支援センターハートフル済生会とは

保健・医療・福祉サービスを総合的に提供・支援する**賃貸住宅**です。生活支援をさせていただき自立と早期社会生活の復帰や生活機能の維持を目指します。安心した環境の中で今までの生活ペースでご自分に必要な在宅サービスをご利用いただきながらお過ごしいただけます。デイケアやデイサービスに通うことも出来ます。



## 居室のご案内

全個室（9.5畳）、冷暖房完備、オール電化、バリアフリーの居室で、浴室・トイレ・緊急通報装置（ブザー）等が設置されています。

### 【各居室の設備】

ミニキッチン（IH調理器）、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、整理タンス、食卓テーブル（椅子1脚付き）、ベランダ（物干し竿1本付き）

### 【食事】

居室の簡易台所で簡単な調理をすることが出来ます

### 【配食サービス】

1日1食からご利用していただけます



### 【サロン活動】

週に3回  
参加は自由です



季節行事・勉強会・健康クラブを行っており、他の階のご入居者様との交流の場にもなっております



### リハビリ監修 ～健康クラブ



リハビリ職員が定期的に入居者様の身体状況の評価やアドバイスを行います

「一人暮らしが不安になってきた」「家での生活に限界を感じる」

「安心できる環境で今の生活と同じように過ごせたら」

そんなお気持ちはありませんか？ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 TEL 089-946-8100

## 「老後を支援するチーム HIT を結成」

にぎつつ苑グループでは、介護や福祉の専門委員で構成されたチーム『HIT』を結成。

老後への不安や悩みにチームで対応します。相談は無料。同グループの住宅型有料老人ホーム(ハートフル)の見学、デイケアやデイサービスの体験・見学も可能です。相談窓口 ハートフル済生会 TEL946-8100(細川)

# お家で役立つ介護のいろは

## ～食事形態の工夫～

第7回は、食事形態についてです。加齢による飲み込みの働きの低下や、病気による麻痺、咀嚼が適切にできないなどの理由で、気道に食物が誤って入ってしまうことがあります。これを誤嚥(ごえん)といいます。誤嚥すると、肺炎を起こす可能性があります。『誤嚥性肺炎』といい、大変危険です。誤嚥を防ぐため、にぎつつ苑では、うまく飲み込めるように、食事形態を工夫してお出ししています。

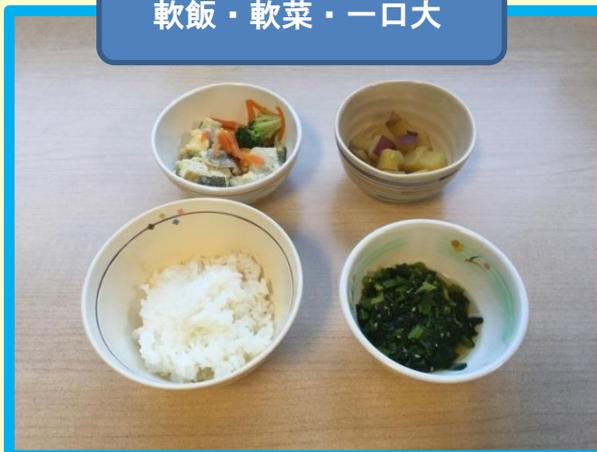
全粥・キザミ・トロミ付き



ペースト食



軟飯・軟菜・一口大



おむすび・軟菜・一口大



この日の献立は、「ごはん・白身魚のピカタ・さつま芋の煮物・ほうれん草のごま和え」でした。写真ごとに、形態が違っているのがわかりますか？

ペースト状にする、トロミ調整食品を利用する、一口大に切る、おむすびにするなど、利用者様が食べやすくなるための工夫をしています。

# ワンポイント

# リハビリ

## ～膝痛について～



だんだんと暖かくなってきましたね。お膝の調子はどうでしょうか？  
“変形性膝関節症”などにより

**「膝が痛い」「膝がまがらない」「膝がうずく」**

と悩まれている方がいらっしゃいます。

人間は歩くとき、足を交互に出すため、片方の足や膝に多くの負担がかかります。  
体重が増えると、それだけ膝に負担がかかります。

歩くときは**体重の2～5倍の力**

階段を下りるときは**体重の5～8倍の力**

このような力が膝にかかっているとされています。しかし、  
膝が痛い状態で体重を減らそうと、むやみに運動するとかえって  
膝を痛める危険性があります。そこで、痛みのない範囲で運動  
を行うようにしましょう。また運動だけでなく食生活の見直しも必要です。



## <運動の前にストレッチ>

ふとももやふくらはぎの筋肉が固まっていると、お膝に余計な負担がかかり  
痛みの原因となるため、運動前には軽くストレッチしましょう！

◎ポイント◎ 反動をつけずに、10～15秒かけてゆっくりと伸ばしていきます！

### ふとももの後ろ



上半身を  
前にゆっくりと  
倒していきます

### ふくらはぎ



足のかかとを  
床につけたまま  
ゆっくりと伸ばします

外傷やリウマチなどの病気や、関節が腫れて熱をもっていたり、  
強い痛みがある場合は、病院で医師の指示を仰いでくださいね

# 井戸端看護

## 誤嚥性肺炎について

日本人の死亡原因の第3位となっている肺炎。その死亡者のほとんどは「**誤嚥性肺炎**」によるものと言われています。飲食物や唾液が、食道ではなく気管に入ってしまった(誤嚥)際に、**口腔内の細菌が気管や肺へ流れ込んで起こる肺炎**のことをいいます。

### 原因

1. 食事以外の時(睡眠中など)に、本人や周囲が気付かないまま、口の中の細菌を唾液と一緒に誤嚥する(不顕性誤嚥)
2. 食後や睡眠中に胃や食道からの逆流物を誤嚥する(胃物逆流誤嚥)
3. 食事中に飲食物を誤嚥する(顕性誤嚥)

### 症状

37.5℃以上の発熱      咳・痰      息苦しさ



その他、元気がない・食欲低下・のどがゴロゴロ鳴る・食事時間が長い・ぼーっとする・失禁するようになった…などの症状が現れることがあります。

治療方法は、**抗菌薬を用いた薬物療法**が基本です。呼吸状態や全身状態が不良な場合は、入院して治療を行うことがあります。同時に**口腔ケア**の徹底や**嚥下指導**も行われます。

### 予防方法

1. 食事中の**会話は控えめ**にして、**しっかりと食べ物を噛み、飲み込む**。  
※高齢者の食事中は、食べることに集中していただき、飲み込む瞬間に返事を要する問いかけをしないことが大事です。
2. 喉頭蓋を素早く動かして、**舌を鍛えるトレーニング**。(発声練習、早口言葉、歌)
3. **口腔内を清潔に保つ**。(食後の歯磨き、義歯清浄を必ず行う)



誤嚥性肺炎は、いちど治療しても、**予防を怠ると再発の可能性が高くなります**。再発の度に症状が重度化したり、耐性菌が発生して治りにくくなったりする厄介な病気なので、**予防がとても大切です**。

# 無料低額診療事業のご案内

当院は、社会福祉法第2条3項に基づいて、病気やけがにより生計困難をきたす恐れのある方や経済的理由により必要な医療を受けることが困難な方に対して、無料または低額な費用で医療を受けられるよう無料低額診療事業を行っています。

## 利用可能対象者

低所得者世帯等、経済的理由により診療費の支払いが困難と認められる方

**申請方法** ※相談は無料。秘密は厳守いたします。

**まずは1階「地域連携室」医療ソーシャルワーカーまでお尋ねください。**

ご相談をお受けした後、院内規定により必要書類を作成し審査を行います。尚、必要に応じて申請者および世帯全体の収入や支出が分かる明細等を確認させていただくこともございます。



**済生会松山病院 地域連携室・医療福祉相談室**

☎ (089) 951-6111 (代表)

〒791-8026 松山市山西町 880 番地 2

E-mail:renkeishitsu@matsuyama.saiseikai.or.jp



診療科/内科・循環器内科・脳神経内科・外科  
整形外科・脳神経外科・婦人科  
泌尿器科・眼科・放射線科・耳鼻咽喉科  
皮膚科・麻酔科・リハビリテーション科

休診日/第2・4・5土曜、日曜・祝日

駐車場無料



## にぎたつ苑の寄付金について

済生会は、明治44年に創立されてから皆様に支えられ現在に至ります。頂いた寄付金は、利用者様に還元し、この長い歴史の積み重ね(先人の想い)を、絶やすことなく未来へつなぎます。



利用者様にあった車椅子や歩行器など  
快適な苑内生活や歩行訓練に使用します。



ノーリフト機器を導入し「怖い・痛い」の  
思いを軽減。安心・安全の介護実現へ。

寄付金へのお問い合わせは、にぎたつ苑相談室 まで  
※ ご寄付は税制上の優遇措置を受けることができます。



## 済生会 松山老人保健施設にぎたつ苑

### 理念

済生会理念のもと、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、在宅を含めた生活機能の維持・向上を目指し、総合的にサービスを提供する。

### サービス目標

- 1、利用者の意思を尊重し、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要なサービスを提供する。
- 2、生活環境の整備や在宅生活に必要な体力・基本動作能力の獲得など、生活の質の向上を目的にサービスを提供する。
- 3、利用者の身体状況に応じて、適応なサービス提供の支援を行い、安全な在宅生活維持に努める。
- 4、自立した在宅生活が継続できるよう、在宅サービスを提供するとともに、他のサービス機関と連携して在宅生活を支援する。
- 5、市町村自治体や保健・医療・福祉機関などと連携し、地域一体となったケアを目指す。

### にぎたつ苑

- |                  |                  |                            |
|------------------|------------------|----------------------------|
| ■介護老人保健施設        | ■介護予防訪問リハビリテーション | ■在宅生活復帰支援センター              |
| ■短期入所療養介護        | ■居宅介護支援          | ハートフル済生会                   |
| ■介護予防短期入所療養介護    | ■訪問介護            | ■通所介護（興居島）                 |
| ■通所リハビリテーション     | ■介護予防型訪問サービス     | ■介護予防型通所サービス（興居島）          |
| ■介護予防通所リハビリテーション | ■日常生活支援・指導事業     | ■配食サービス（興居島）               |
| ■訪問リハビリテーション     | ■介護職員初任者養成講座     | ■過疎地有償運送（興居島）              |
| ■訪問看護ステーション      | ■多機能型なでしこハウス     | ■就労継続支援B型ワークステーション<br>なでしこ |



発行元 社会福祉法人 済生会  
松山老人保健施設にぎたつ苑  
苑長：山本昌也

住所 松山市山西町 880 番地 2  
電話 089-951-6600

ホームページ <http://nigitatsu.saiseikai.or.jp/>

編集者 広報委員会  
発刊日 令和3年4月1日

\* 広報誌内におけるすべての画像は、本人様及びご家族様に了承を得て掲載しています。